目標達成計画

作成日 : 平成21年12月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>
1		共用空間からトイレが近いため、トイレの中の様子が見えることがある。	利用者に配慮した安全なトイレ介助をする。	トイレ使用時には、膝にバスタオルを掛ける。	1 か月	
2	23	思いや意向の把握。 一人ひとりの思いや希望が把握できに〈い利用者 もいる。	生活歴を詳し〈聞き取り、日々のケアにつなげ てい〈。	センター方式(B-3,C-1-1,C-1-2)を取り入れ、 キーパーソン以外にも、面会時に分かる範囲で 聞き取りをする。	6 か月	
3	11	ケアの質の向上。	ケアの統一。 外部研修への参加。	外部研修に参加した職員より、内容について発表してもらい、職員共通の知識とする。	6~12か月	
4		利用者、家族と相談しながら外出支援を考える。	して白む事夫の主して加りしじり) でし、外次	面会時に話した内容を連絡ノートに記入し、スタッフが情報を共有し、一人ひとりに合った外出支援を考える。	6~12か月	
5	10		運営推進会議へ、一人でも多くの家族に参加 をしてもらう。	話しやすい雰囲気作り。 職員を含む事業所側から、議題の内容を振って みる。	12 か月	
6	4	運営推進会議の議題がない。	連昌推進会議参加メノハーより、息見を正して	どのような議題に関心があるか、具体的に聞く。 イベントに参加された家族に、簡単なアンケート をとる。	12 か月	

事業所名グループホームつばさ作成日平成21年12月22日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】 取り組んだ内容 実施段階 該当するものすべてに 印) 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った 利用者へサービス評価について説明した 1 サービス評価の事前準備 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした 運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した その他(自己評価を職員全員が実施した 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った 2 自己評価の実施 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った その他(普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた 3 外部評価(訪問調査当日) 対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た その他(運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開 評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った その他(今後、運営推進会議にて話し合う予定。 職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した 「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) 5 サービス評価の活用 「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する) 「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む) その他(